## 教材・支援機器活用実践事例 【音韻意識を育てるための指導】

になることで、平仮名学習へもスムーズに移行できるようにしたい。   接業における   子どもの目標			「日民心量ですてのためのはな」
いて         単元・題材名         ことばすごろく		実施年度	平成26年度
検案における	授業につ	教科名等	自立活動
	いて	単元・題材名	ことばすごろく
になることで、平仮名学習へもスムーズに移行できるようにしたい。     授業における     子どもの目標		授業における	○読み書きの基礎となる、音韻意識を高めたい。
授業における 子どもの目標       ○身近な単語を正しく聞いたり、復唱したりすることができる。 ○身近な単語がいくつの文字でできているかがわかる。         子どもに ついて       学級・学校・学年 対象の障がい (種別・診断名等)       小学校・低学年 通級による指導 大学・施 (種別・診断名等)         受習上又 は生活上 の困難さ       子どもの特性や 教育的ニーズ       ・おしゃべりが好きで、自分の興味のある話だけでなく、教師に質問するなど 周囲への関心ももっている。         ・検々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。 ・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー」「パイナップル」か「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。         教材・支 機機器活用       歴期した支援機 器・教材の名称       【画像】         本・教材の名称       ことばすごろく (さいころ)       「画像】         本・教材の名称       ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。 ・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。 ・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定する。 ことで、音の抽出の学習をすることができる。		教師のねらい	○音を注意して聞くこと、正確に聞くこと、正しく再現することができるよう
子どもについて         学級・学校・学年         小学校・低学年 通級による指導           力いて         対象の障がい (種別・診断名等)         ことばの発達の遅れ (音韻意識の弱さがある)           授業形態         個別学習           学習上又 は生活上の困難さ         ・おしゃべりが好きで、自分の興味のある話だけでなく、教師に質問するなど 周囲への関心ももっている。 ・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー」「バイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。           教材・支 援機器活用         使用した支援機器・教材の名称         【画像】           活用のねらい         ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。			になることで、平仮名学習へもスムーズに移行できるようにしたい。
子どもについて         学級・学校・学年         小学校・低学年         通級による指導           対象の障がい(種別・診断名等)         (音韻意識の弱さがある)           授業形態         個別学習           学習上又は生活上数育的ニーズ         ・おしゃべりが好きで、自分の興味のある話だけでなく、教師に質問するなど周囲への関心ももっている。 ・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー「バイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。           教材・支援機器活用         使用した支援機器・教材の名称           選後機器活用         ことばすごろく(さいころ)           活用のねらい         ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。		授業における	○身近な単語を正しく聞いたり、復唱したりすることができる。
ついて		子どもの目標	○身近な単語がいくつの文字でできているかがわかる。
(種別・診断名等) (音韻意識の弱さがある)  授業形態 個別学習  学習上又 子どもの特性や	子どもに	学級・学校・学年	小学校・低学年 通級による指導
<ul> <li>授業形態</li> <li>増別学習</li> <li>子どもの特性や教育的ニーズ</li> <li>・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。         <ul> <li>・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。</li> </ul> </li> <li>教材・支援機器活用</li> <li>用</li> <li>正とばすごろく(さいころ)</li> <li>「油像」</li> <li>「油水の塩の砂・塩の水の水の砂・塩の水の水の砂・塩の水の水の側面に、ビニール製のCDケースを貼り付け、絵カードを入れられるようにした。</li> <li>・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。</li> </ul>	ついて	対象の障がい	ことばの発達の遅れ
学習上又 は生活上 は生活上 物育的ニーズ         ・おしゃべりが好きで、自分の興味のある話だけでなく、教師に質問するなど 周囲への関心ももっている。         ・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。         ・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー」「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。         数材・支 援機器活 器・教材の名称         【画像】         立方体の箱の側面に、ビニール製のCDケースを貼り付け、絵カードを入れられるようにした。           活用のねらい         ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。		(種別・診断名等)	(音韻意識の弱さがある)
は生活上 の困難さ       教育的ニーズ       周囲への関心ももっている。 ・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。 ・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。         教材・支 援機器活用       使用した支援機 器・教材の名称       【画像】       立方体の箱の側面に、ビニール製のCDケースを貼り付け、絵カードを入れられるようにした。         活用のねらい       ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。		授業形態	個別学習
<ul> <li>の困難さ</li> <li>・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。</li> <li>・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。</li> <li>数材・支援機器活用</li> <li>服・教材の名称</li> <li>「画像」</li> <li>立方体の箱の側面に、ビニール製のCDケースを貼り付け、絵カードを入れられるようにした。</li> <li>活用のねらい</li> <li>・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。</li> </ul>	学習上又	子どもの特性や	・おしゃべりが好きで、自分の興味のある話だけでなく、教師に質問するなど、
・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまっていたりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。    ***********************************	は生活上	教育的ニーズ	周囲への関心ももっている。
たりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー」「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。    ***数材・支   使用した支援機器・	の困難さ		・様々なものへの好奇心がある反面、集中力は長く続かない。
<ul> <li>教材・支 使用した支援機器・教材の名称</li> <li>活用のねらい</li> <li>・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。</li> </ul>			・身近な単語でも、正しく復唱できなかったり、音を誤って覚えてしまってい
教材・支 授機器活用       使用した支援機器・教材の名称       ことばすごろく (さいころ)       「画像】         活用のねらい       ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。			たりする。特に、単語中の「ん」が抜けることが多い。「ミカン」→「ミカー」
援機器活用       器・教材の名称       ことばすごろく (さいころ)       立方体の箱の側面に、ビニール製のCDケースを貼り付け、絵カードを入れられるようにした。         活用のねらい       ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。			「パイナップル」→「タイナップル」など。表記にも誤りが見られる。
### ことばすごろく (さいころ) ニール製のCDケースを 貼り付け、絵カードを入れられるようにした。	教材・支	使用した支援機	【画像】
(さいころ) 貼り付け、絵カードを入れられるようにした。	援機器活	器・教材の名称	立方体の箱の側面に、ビ
活用のねらい ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。 ・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。 ・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。	用		ことばすごろく ニール製のCDケースを
活用のねらい ・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。 ・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。 ・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定することで、音の抽出の学習をすることができる。			(さいころ) 貼り付け、絵カードを入
・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。 ・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定する ことで、音の抽出の学習をすることができる。			れられるようにした。
・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。 ・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定する ことで、音の抽出の学習をすることができる。			
・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定する ことで、音の抽出の学習をすることができる。		活用のねらい	・出た面の絵を見て、その単語の文字数だけすごろくを進むようにする。
ことで、音の抽出の学習をすることができる。			・身近な単語を、1文字ずつ分解して捉えるための学習として行う。
			・児童が絵カードを選ぶときでも、「アが入った言葉」などの課題を設定する
・鈴カードカリカ 抹っできる トミにしたこしで 旧音の細頭に広じてるの物は			ことで、音の抽出の学習をすることができる。
授業における支援	授業における支援 ・教材の配慮事項		・絵カードを入れ替えできるようにしたことで、児童の課題に応じてその都度
単語を選び、さいころを構成できるようにした。			単語を選び、さいころを構成できるようにした。
・すごろくは市販のものなどを活用できるようにした。			,
・ゲームを取り入れたことで、児童が好きな学習の1つになり、意欲的に取り	子どもの変容や評価		・ゲームを取り入れたことで、児童が好きな学習の1つになり、意欲的に取り
組んでいた。			組んでいた。
			・絵の名称を答えるときに、指を折って文字数を数えながら言う姿が見られた。
子どもの変容や評価 ・「ん」と発音する時にも1文字数えることが徐々に理解できるようになった。			・「ん」と発音する時にも1文字数えることが徐々に理解できるようになった。
それにより、平仮名で表記する際の誤りが減ってきた。			それにより、平仮名で表記する際の誤りが減ってきた。
・清音や濁音、半濁音を学習した後、児童の学習の進度に合わせて、長音や技			・清音や濁音、半濁音を学習した後、児童の学習の進度に合わせて、長音や拗
音、促音が入った単語でさいころを構成して取り組むことができた。			音、促音が入った単語でさいころを構成して取り組むことができた。